

「双日由利農人株式会社」への協調融資について ～東北地域のタマネギ産地化に取り組む新規事業に対し3行庫が連携支援～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、株式会社東北銀行（頭取 佐藤 健志）および日本政策金融公庫秋田支店農林水産事業（以下、「日本公庫」といいます。）とともに、秋田県由利本荘市の「双日由利農人株式会社」（代表取締役 岡田 拓真）に対し、タマネギ乾燥調製設備の取得費用を協調融資にて支援しましたので、お知らせいたします。

双日由利農人株式会社は、「東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」といいます。）」における取組みが発展し、プラットフォームの会員等によって、秋田県内（由利本荘市が中心）を基盤に、持続可能な農業を実現するために設立された農業法人です。

本事業は、プラットフォームの先行事例とし他の東北地域へ展開していくことで、7～8月の国産タマネギの端境期に東北地域からの供給拡大をはかることを目的としています。本事業により、主要作物であるタマネギの国産化が進み、日本の食料安全保障の充実と東北地域の農業の活性化に貢献することが期待されます。

当行、東北銀行および日本公庫は、東北地域全体の農業に波及する今回のビジネスモデルを高く評価し、支援を実施いたしました。協調3行庫は、今後も相互に連携し地域経済の活性化促進に努めるとともに、事業意欲のある農業者の皆さまへの総合的な支援を推進してまいります。

記

1 融資先の概要

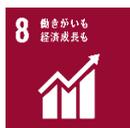
企業名	双日由利農人株式会社
代表者	岡田 拓真
所在地	秋田県由利本荘市西目町西目字釜ヶ沢54番地1
事業内容	農産物の生産支援、販売および流通
リンク	https://www.sojitz.com/jp/news/2023/08/topics-20230807.php

2 東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォームについて

農業生産法人・みらい共創ファーム秋田、農研機構、双日株式会社により、スマート安定生産技術を活用した東北地域での国産タマネギの供給力強化に向け、生産・加工・流通システムの構築につながる国産タマネギの産地形成と連携を目的として設立されました。

(https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/153250.html)

(以上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。

【参 考】

事業設備、生産したタマネギの出荷の様子

○ 乾燥設備



○ 出荷作業の様子



(以 上)